|  |  |
| --- | --- |
| **25**  （月） | のやぐらをてよう  -、、 - 24・25・ |
|  |  |
|  | Remnantはをめて、やしと、サミットにするになるとしましょう。そして、つのをるのになりましょう。つのがなければはできません。のでつののをてみましょう。  １つ、Remnantはみんな、つのがあるにきました。がRemnantをとして、としてられました。それがRemnantがエジプトにくことができるだったからです。Remnant７はにくに、にサミットになってきました。２つ、はにつのがないので、パウロをてられました。そして、のへ、やしのへ(使13、16、19)られました。また、Remnantをかすことができるサミットのであるにられました。３つ、いまは、Remnantは８のレムナントとしてをつけめましょう。このをると、すべてのをかされるのきをることができます。そして、キリストのえがえられて、すべてのがやされ、がすべてのRemnantをサミットとされるのをることができます。  ととにつのがられるようにさいミッションにするようにりましょう。 |
|  | 、にあるをえられたそのままけて、つのをるRemnantになりますように。きておられるイエス・キリストのによっておりします。アーメン  2023.11.24.RCA 2講 |

|  |  |
| --- | --- |
| **26**  （火） | のやぐらをてよう  --24、()25、()() |
|  |  |
|  | はのをつであるサタンにつをRemnantにえてくださいました。そして、のとのもえてくださいました。このつのをりでわえば、Remnantにれるがあります。  １つ、わざわいをめます。のRemnantもにってわざわいをめました。がこるたびに、そのをしました。イエスは、さまざまなわざわいがむけれども、わりではないとわれました。がすべてのにべえられたにわりがるとわれました。２つ、をめます。13、16、19には、んでいるをパウロがやすがてます。にりつかれたをし、がすことができなかったをしました。は、をすことをけてくれます。しかし、なこととをすることはできません。３つ、Remnantをしてのきがこります。これからRemnantはなこととなことをにしましょう。そして、にうなことをしましょう。  ７やぐらと７、７しるべをよくしてりめましょう。りのシステムがられるまでちむことなく、りにしましょう。 |
|  | 、をて、になりのシステムをするRemnantになりますように。きておられるイエス・キリストのによっておりします。アーメン  2023.11.24.RCA 3講 |

|  |  |
| --- | --- |
| **27**  （水） | 237-5000をかす |
|  | **ロマ16章25～27節**　の、すなわち、イエス・キリストをえるによって、また、にわたってされていたのによって──(25) |
|  | Remnantは237かと５をかすです。このことのために、にすることがあります。キリストがえてくださったをって、と、にしましょう。そのとはでしょうか。  １つ、がえてくださったことは、にわたってされていました。それは、のみことばです。のみことばをってりけていると、５つのがえられます。５つのでのわざわいをめるとレムナントがてました。２つ、が、されているのです。それがカルバリの、オリーブ、マルコののです。このをってのやぐらをてましょう。そして、すべてをできるのをいましょう。また、をにちるキリストのしるべをてましょう。３つ、がにえてくださるのことです。イスラエルは、のとしてらされました。ここにのがあります。ローマに237かがあり、のに５があるからです。Remnantだけが237、５をわうことができます。  Remnantはがえてくださったをわってちましょう。すると、のがむがます。そのようにしていて、のがえたらしましょう。 |
|  | 、キリストがえてくださったをってして237かと５をかすとしてちますように。イエス・キリストのによっておりします。アーメン  2024.04.07.2部 |

|  |  |
| --- | --- |
| **28**  （木） | レムナントがなければならないの |
|  | **Ⅱ列6章8～23節**　するとは、「れるな。たちとともにいるは、らとともにいるよりもいのだから」とった。そして、エリシャはってにった。「どうか、のをいて、えるようにしてください。」がそののをかれたので、がると、なんと、のとがエリシャをりいてにちていた。(16-17) |
|  | Remnantがることのでもなことはでしょうか。それはのです。これをるために、にえておくのがつあります。  １つ、れたはずいます。バビロンにオバデヤは100のをしました。らはいのちをっているでした。いのちをったは、いのちをかけるになります。いのちをかけるは、いのちをかすになります。２つ、りのがいます。バビロンに７のりのがいました。エリヤはりの850とってちました。からしたのです。ほどエリヤがちんだとき、はエリヤにいをってをえてくださいました。それゆえ、エリヤはいて、ホレブのにすることができました。はそこで、のがしてあることと、エリシャについてってくださいました。３つ、でするがいます。そのは、からのをっていて、のがされることをることができるなをっていました。そして、わずにするがえられていました。  Remnantはくごとにをつけましょう。いつもとえにのやぐらがつようにりましょう。すると、にうでしょう! |
|  | 、をてることができるRemnantとしてりますように。イエス・キリストのによっておりします。アーメン  2024.04.13.レムナント伝道学 |

|  |  |
| --- | --- |
| **29**  （金） | のをたの |
|  | **Ⅱ列2章9～11節**　りえると、エリヤはエリシャにった。「あなたのためにをしようか。があなたのところからりられるにめなさい。」するとエリシャは、「では、あなたののうちから、のをのものにしてください」とった。(9) |
|  | Remnantはのやぐらをつようにりましょう。そのでと、のにるのです。すると、えがえられ、のことをするようになります。のことをしたたちをながら、Remnantがけるえをしてみましょう。  １つ、エリヤのです。カルメルでりのとのをいました。そのときエリヤは、にいをするためにりました。のことをしたのです。２つ、エリシャのです。やぐらをっていたので、もしいになをすることができました。されて、をのにしているエリヤだったのですが、そのになることをしたのです。エリヤがっているのうちからのをめたエリシャは、ドタンのにいられました。３つ、のです。がなくてもです。ツァレファテのやもめとシュネムのは、エリヤとエリシャをけました。このことはしてさいことではありません。このは、がすることにいられたのです。  Remnantはにでもがえてくださるをわうをちましょう。すると、のやぐらがてられて、がわれることをできるようになるでしょう。 |
|  | 、がえてくださるをわうやぐらをてることができますように。のことをすることができますように。イエス・キリストのによっておりします。アーメン  2024.04.13.核心訓練 |

|  |  |
| --- | --- |
| **30**  （土） | がになる |
|  | **ロマ1章1～10節**　がのをえつつからえているがししてくださることですが、はえずあなたがたのことをい、(9) |
|  | イスラエルのは、にけたのをることができませんでした。それゆえ、、、となってにくようになりました。Remnantは、でなくでけばよいのです。そのために、がめてくださるりのになるようにしましょう。それでこそ、がかれて、のがみ、ができるようになります。Remnantは、まずにることがあります。  １つ、のときにののがされるようにりましょう。すると、わうえがえます。２つ、と、ににするりをしましょう。このようにりをわえば、24がにできるようになるがえられます。３つ、をかす\*プラットフォームをって、をらす\*りをてましょう。そして、とする\*アンテナをてましょう。４つ、そのときから、はえをつけるになります。は、をえるようにするになります。そして、すべてのはからえてくださるになります。５つ、Remnantのにえがえられます。  りはにくなであり、をくのです。Remnantはがになってくださるりをわいましょう。  \*\*プラットフォーム:なにかをするためにずなののこと  \*り:りをするためにてたいのこと  \*アンテナ:にてて、のにをったり、をけるのこと |
|  | 、がになってくださるやぐらをてますように。イエス・キリストのによっておりします。アーメン  2024.04.14.1部 |